GSC

合田外科新聞

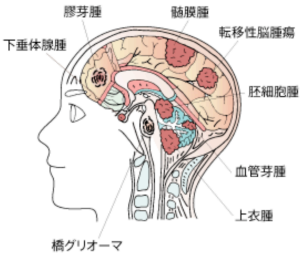
URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成20年10月
第46号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：新型インフルエンザ

最近、厚生労働省を始め行政機関を中心として、新型インフルエンザに対しての対策が具体化してきています。新型インフルエンザウイルスは、動物、特に鳥類のインフルエンザウイルスが人に感染し、人の体内で増えることができるように変化し、人から人へと効率よく感染できるようになったもので、このウイルスが感染して起こる疾患が新型インフルエンザです。これまでにもインフルエンザは何度も大流行を繰り返しています。２０世紀では、大正７年にスペインかぜ、昭和３２年にアジアかぜ、昭和４３年に香港かぜ、昭和５２年にソ連かぜが世界的に流行し、時に多くの死亡者（例えば、スペインかぜの場合では、世界で約４０００万人、わが国で約３９万人が死亡）を出しました。これらは全てそれまで存在しなかった新たなインフルエンザウイルスが原因で、こうした「新型インフルエンザ」は１０年から４０年の周期で流行してきましたが、次の新型インフルエンザがいつ出現するのか、予測することはできません。しかし一番最近のソ連かぜから３０年以上が経過し、いつ出現してもおかしくない状況です。新型インフルエンザウイルスに対しては人には免疫力がありませんので、重症化することが懸念されています。政府の試算では国内の患者数は最大で２５００万人、入院患者は５３～２００万人、死亡者は１７～６４万人と莫大なものになっています。新型インフルエンザに対して確実に効果が期待できるワクチンは存在しません。何故ならワクチンは感染が起こり、免疫が成立して初めて製造できるものだからです。現時点では鳥－人感染の患者または鳥から分離されたウイルスを基に製造されるプレパンデミックワクチンのみが唯一有効な可能性があるものです。政府は現在１０００万人分のプレパンデミックワクチンを製造しており、感染症指定医療機関などの医療従事者、保健所職員、新型インフルエンザ対策にかかわる警官や救急隊員、検疫所職員、在外公館職員等からワクチンを接種する準備を進めています。

病気の知識：脳の病気：⑥ 脳腫瘍



脳のできもの（腫瘍）が脳腫瘍です。悪性腫瘍は１／３程ですが、例え良性でも大きくなると脳を圧迫し危険を伴うので可能ならば手術が原則です。脳腫瘍の症状は様々で、てんかん・頭痛・嘔吐・視力低下・視野の狭窄・手足のマヒ・めまい、さらには月経不順・肥満・末端肥大症などの内分泌症状など多彩です。こうした症状は、いつのまにか現れ、徐々にではありますが、確実に進行していくのが脳腫瘍の特徴です。ＣＴやＭＲＩによって殆ど脳腫瘍の有無は判りますので、どうも最近おかしいとお思いの方は御相談下さい。

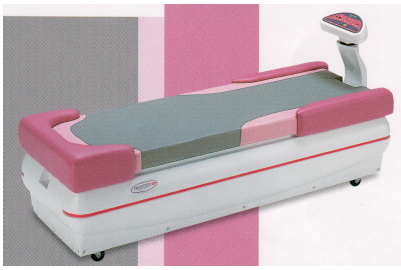
医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチンのお知らせ

インフルエンザワクチンの時期がやって来ました。１０月中旬より接種開始です。今号で特集している新型インフルエンザのワクチンではありませんが、今シーズン流行すると考えられているインフルエンザに対してのワクチンです。インフルエンザは毎年流行するタイプが異なりますので、毎年ワクチンを接種しなければなりません。特に６５歳以上の方、またインフルエンザに罹ると重症化し易い持病のある方は絶対に受けるようにしましょう。表はワクチンの料金表ですが、６０歳以上で特定の疾患のある方（身体障害１級など）の場合には１０００円で接種可能なことがあります。詳しくは当院の受付までお気軽にお尋ね下さい。

	お一人	お二人以上
65歳以上（市民）	1000円／人	1000円／人
13歳以上65歳未満	4000円／人	3000円／人
13歳未満	3000円／人	2000円／人

②新型ローラーベッド導入



リハビリをされている方にはもうお馴染みですが、この度、２台あるローラベッドの内の１台を最新式のものに入れ替えました。従来のローラーベッドと比べ、バイブレーション機能がついているためか気持ちがいいと好評です。私（院長）もやってみましたが「超気持ちいい～」といった感じです。慢性の腰痛や肩凝りの方にはよく合っているかと思われますので、ぜひ一度お試し下さい。

③医療制度

御承知の様に９月の自民党総裁選で麻生太郎氏が選出され、首相に就任しました。現在、社会保障費は年間２２００億円ずつ削減されており、産科問題・小児科問題・救急問題等で医療の現場は疲弊しています。また４月より始まった後期高齢者医療制度も大きな批判にさらされています。新しい首相にはぜひ医療の現状を鑑み、安心して暮らせる社会にしてもらいたいものです。

介護保険あれこれ：⑧ 介護保険認定審査

初めて介護保険を利用する場合や、利用中の介護保険認定の期限が来た場合には、市役所介護保険課に申請をしなければなりません。申請時にはかかりつけの医療機関を聞かれますので、当院受診中の方は「合田外科」とおっしゃって下さい。そうすると後日、介護保険課より当院に「意見書」というものが郵送されてきます。これは介護保険を申請された方の現在の病気の状態・身体の状態・投薬の内容・認知症の程度・自立の具合など事細かに記すものです。同時に市役所より申請された方のお住まいに調査員が派遣され、実際の生活具合をチェックします。調査員の報告は点数化され、「意見書」と併せて介護保険認定審査委員会で複数の委員による審議を受け各人の介護の等級が決められます。私（院長）も月に一度市役所に赴き、審査委員会を主催しています。介護認定は極めて公平なもので情実が入る余地はありませんが、認知症が強い場合には一定の配慮がなされる様です。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成21年1月
第47号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：インターネット医薬品購入

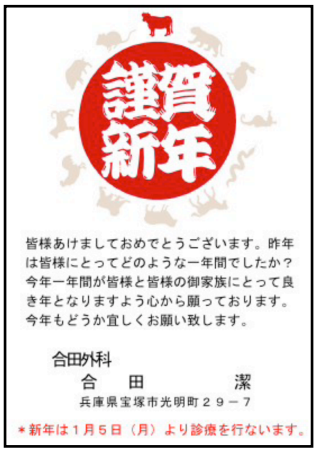
薬剤は医療機関で処方される医療用医薬品と薬局などで販売される一般用医薬品（大衆薬）に大別できます。医療用医薬品は医師や歯科医師が患者さんを診察し、その結果に応じて適切と考えられる薬剤を組み合わせて使用するものです。医療用医薬品は効果が強い反面、副作用などの懸念もありますので、厳密に管理されています。通常は院内処方といって医療機関の内部で処方されるか、あるいは院外処方といって調剤薬局に医師・歯科医師の発行する処方箋を持参して薬剤師に処方してもらいます。一方、一般用医薬品はパ○シロンの様な胃腸薬やコ○タックの様な風邪薬など、比較的軽い症状の場合に自分の判断で用いる薬剤です。そのため医療用医薬品よりも作用が穏やかで、安全性の高いと考えられるものが使用されています。しかしいかに安全性が高いとはいえ体に作用する医薬品には変わりありません。事実、厚生労働省の報告では頻度は高くはないもののショック・肝臓障害・腎臓障害・重症皮膚炎など生命にかかわる重篤な副作用の例も報告されています。従来、一般用医薬品は薬局の店頭で購入するのが普通でした。薬局ならば薬剤師がいるため、服用に対してのアドバイスや副作用に関しての情報も得ることができます。ところが数年前から規制緩和・構造改革の名の元に多くの一般用医薬品がインターネットを通じて購入できるようになったのです。確かにインターネットで医薬品が購入できるのならば便利には違いありません。しかし安全性はどうでしょうか？インターネットを使う方は必ずしも医薬品の副作用をよく理解している訳ではありません。近々、厚生労働省はこのようなインターネットでの野方図な医薬品販売を禁止するようですが、楽天やＹＡＨＯＯなどのインターネット事業者は厚生労働省の規制に猛反発しています。商売を邪魔されることになる彼等は今までインターネットでの医薬品販売で重篤な副作用がでたことはないと主張していますが、本当なのでしょうか？よしんば本当だとしても将来に渡ってそんな被害はでないと言えるのでしょうか？生命に関わる医薬品の販売にはくれぐれも慎重を期していきたいものです。

病気の知識：脳の病気：⑦ パーキンソン病

パーキンソン病は脳の黒質という部分の神経細胞が何らかの原因で減少し、ドーパミンという神経間の情報をやりとりする物質が産生されにくくなり発症します。発症は５０～６０歳台が多く、日本では１０００人に１人位の割合で患者さんがいらっしゃいます。症状は振戦（安静時の震え）、筋強剛（ぎこちない動作）、動作緩慢、姿勢反射障害（転び易い）などが特徴的です。特定疾患という難病の一つであり、治療は薬物療法が主体ですが、完治は困難です。上図は典型的なパーキンソン病の方を表わしています。

医院よりのお知らせ

①新年の御挨拶



皆様、あけましておめでとうございます。昨年は１年間ありがとうございました。今、世界はサブプライイム問題に端を発する金融危機・経済危機に見舞われています。どうやら日本でも今年は経済の見通しが悪い様で心配ですが、あまりくよくよしても仕方がないので取りあえず前向きに行きましょう。私は今年はようやく後厄（数えで４３歳）を抜けましたので心機一転、絶好調のはず・・・ですがいかがでしょう。相変わらずメタボなままで困ったものですが、昨年からメタボ検診も始まったことですし、ひっかかった方々と一緒に対策を練りたいものです。ともあれ、今年も皆様のお役にたてます様に精一杯がんばりますので、引き続き宜しくお願い申し上げます。

院長　　合田　潔

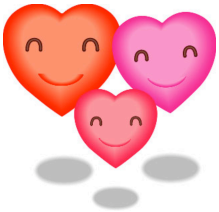
②インフルエンザワクチン

インフルエンザワクチンはもう接種されましたか？大部分の方はもうお済みかと思いますが、まだなようでしたら１月末まで接種することができますので、できるだけ早く受けて下さい。今シーズンは御承知の様に例年より早く流行が始まっていますが、今（平成２１年１月初旬）ならまだピークには間に合います。お気軽にお申し付け下さい。

③第２回宝塚医療福祉市民フォーラム

３月７日に宝塚ホテルで「シッコ」という映画の無料上映会を行ないます。「シッコ」は高名なマイケル・ムーア監督の作品で、アメリカの市場原理主義に基づく医療の酷さを明らかにしています。まさに金の切れ目が縁の切れ目のアメリカ医療・・・少し前まで日本でもこんな酷い医療の導入を声高に主張している人がいました。是非とも皆様、上映会に御参加して頂いて、アメリカ型医療の酷さを実感してみて下さい。どうすればこんな医療制度にならないか・・・皆様の選択が問われています。

介護保険あれこれ：⑨ 介護予防



介護予防とは、高齢者が自分らしく生活する為に危険な老化のサインを早期発見し、生活機能の維持・向上を積極的に図り、自ら力を取り戻していくことです。要するにできるだけ介護保険を使わず済むように、早いうちから準備しましょうというもので、要支援１・２の方を対象としています。平成１２年から始まった介護保険は制度を利用される方がどんどん増加し、主に財政的理由から平成１８年より予防重視の方針に転換されました。介護予防訪問介護・介護予防訪問入浴介護・介護予防訪問看護・介護予防通所介護・介護予防通所リハビリテーション・介護予防短期入所生活介護など基本的には要介護の方と利用できるサービスに大きな差はありませんが、サービス内容や１ヶ月の限度額は異なります。介護予防に関しては宝塚では６ヶ所の地域包括支援センター（小林・逆瀬川・御殿山・小浜・長尾・花屋敷）がそれぞれの地域を担当しています。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成21年4月
第48号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：特定健康診査（メタボ健診）

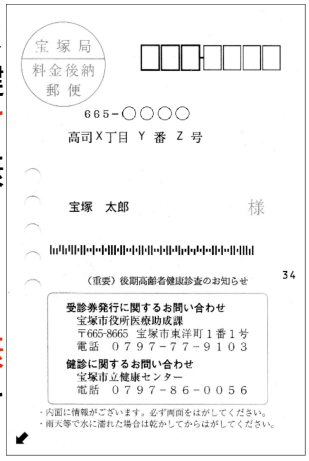
昨年から健診制度が変わり、特定健康診査（特定健診）、いわゆるメタボ健診が始まりましたが、皆様お受けになられましたか？４月から新年度の健診が始まりますので、今回はこの特定健診についてご説明致します。以前は宝塚市が主体となって、４０歳以上の宝塚市民を対象として、宝塚市民健診が行なわれていました。これは「個別の病気に対する早期発見・早期治療を行なう」ことが目的で（市ＨＰ抜粋）、高血圧・糖尿病・高脂血症など個別の病気を早く見つけて早く治療しようというものです。ところが最近、こういった個別の病気は互いに関連しあっていることが明らかとなり、お腹の中の内臓に貯まった内臓脂肪が原因であると言われるようになってきました。そしてこのような状態をメタボリック症候群と呼ぶようになったのです。メタボリック症候群は放置すると全身の血管の動脈硬化が進行して、最終的には心筋梗塞や脳梗塞などの致命的な病気を引き起こします。そこで「総合的に内臓脂肪型肥満に着目し、早期介入・行動変容を図る」ことを目的とする特定健診が始まったのです。特定健診は実施主体や対象者が以前の市民健診とは若干異なりますが、具体的には腹囲を測定し、男性で８５センチ以上、女性で９０センチ以上あればそれだけで内臓脂肪型肥満の候補者となります。これに高血圧・糖尿病・高脂血症（脂質異常症）のうち、２つ以上あてはまればメタボ確定、１つならばメタボ予備軍と判定されます。従来と違い、この健診ではひっかかった方に呼び出しが来て、指導（特定保健指導）が行なわれます。面接で行動目標が定められ、以後も月に１回程度の割合で指導が入ります。指導によって改善が見られない場合には将来的にはペナルティ（保険料アップ等）も考えられます。このような制度が始まったのは、少子高齢化に伴って医療費の増加が見込まれる中、重篤な病気が発症する前に手を打ち、少しでも医療費を削減しようという厚生労働省の思惑があったからです。人間の欲望を押さえ込むようなこの制度がうまくいくかどうかは判りませんが、早い間に病気になる可能性を把握するのは悪いことではありません。まずはしっかり把握して自己管理をしましょう。

病気の知識：肺の病気：① 肺炎

肺炎は細菌・ウイルスなどの微生物が肺に感染して起こる病気です。痰・咳・胸痛・発熱などが主な症状ですが、高齢の方の場合には症状がでにくいこともあり、なんとなくしんどそうな場合には注意が必要です。胸のレントゲン検査で肺炎の有無・程度は大体判りますので、疑わしい場合には積極的に検査を受けて下さい。治療は原因に応じて抗生物質を用います。肺炎の原因の多くを占める肺炎球菌に対しては予防の為のワクチンがあります。健康保険の対象ではないので実費（８０００円程度）になりますが、持病のある方や高齢の方は肺炎で死亡することもあるので、接種をお勧めします。

医院よりのお知らせ

①宝塚市での特定健診について


宝塚局
料金後納
郵便

□□□-□□□□

665-○○○○
高司X丁目 Y 番 Z 号

宝塚　太郎　様

34

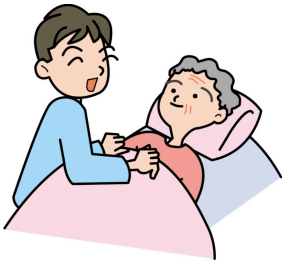
（重要）後期高齢者健康診査のお知らせ

受診券発行に関するお問い合わせ
宝塚市役所医療助成課
〒665-8665 宝塚市東洋町１番１号
電話 ０７９７－７７－９１０３
健診に関するお問い合わせ
宝塚市立健康センター
電話 ０７９７－８６－００５６

・内面に情報がございます。必ず両面をはがしてください。
・雨天等で水に濡れた場合は乾かしてからはがしてください。

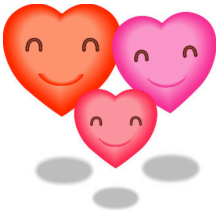
左面の特集で説明しましたように、特定健診が始まっています。ここでは健診の受け方を補足して説明致します。特定健診は保険組合が主体となって行ないますので、自分が入っている健康保険の種類によって受け方が異なります。国民健康保険の方は市役所より右のような受診券という葉書が誕生月の数ヶ月前に届きます。この受診券には年齢などによる各々の方の区分けが記されており、それによって健診の検査項目が異なります。健診を受けられる場合にはこの受診券と健康保険証をお持ち下さい。窓口でのお支払いはありません。それ以外の社会保険や協会けんぽ（以前の政府管掌健康保険）の方は各々の所属する組合によって受診券・窓口負担金の額などが異なりますので、ご不明の場合には当院窓口にお気軽にお尋ね下さい。なお特定健診以外の癌検診（肺癌検診・大腸癌検診・前立腺癌検診）は従来通りですので、こちらも併せて受診下さい。

②当院での往診・在宅医療について



近年、医療費抑制政策によって、長期間の医療機関への入院が難しくなってきています。以前はいわゆる社会的入院としてお家での介護が難しい高齢の方などが何年間も老人病院に入院していることがよくありました。ところが最近では入院しても数ヶ月で転院や退院を迫られることが多くなっています。もちろん介護保険による特別養護老人ホームや介護療養病床など受け入れ施設はありますが、とても十分ではありません。そこでお家で介護を受けながら医療も受ける在宅医療が行なわれるようになってきています。当院でも通院の困難な高齢の方に膝の関節注射に伺ったり、持病の悪化や高齢化で寝た切りに近くなった方に定期的に診察に伺ったり、呼吸状態の悪い方に在宅酸素の貸し出し手配を行なったり、また訪問看護ステーションと協力してお家での点滴を行なったりしています。今後共在宅医療に力を入れていくつもりですので、ご要望がおありの場合にはお気軽にお申し付け下さい。

介護保険あれこれ：⑩ 介護保険制度改正



平成２１年４月より介護保険制度が改正されます。今回の改正は主に費用面においてであり、低賃金が問題になっていたホームヘルパーさんなどの介護従事者の処遇を改善しようというものです。しかしあまり知られていませんが、実は介護の認定審査制度も大きく変ります。従来はかかりつけ医師による身体・精神状態を記した意見書と調査員による調査結果からコンピューターで一次判定を行ない、そこに諸事情を勘案して二次判定を行なっていました。一次では随分軽く判定されることも多く、二次で審査委員の協議で介護度を上げることもままありました。私も介護審査委員として長年審査会に携わってきましたが、できるだけ介護を受ける方のことを考えた審査をしてまいりました。ところが改正以降はこういった一次判定の変更が難しくなります。場合によっては介護度が下がって施設から退去させられる方がでるかも知れません。こんなことにならないよう、できるだけ頑張ります。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成21年7月
第49号
合田外科
TEL　0797-71-2132
FAX　0797-74-1430

最近の話題：新型インフルエンザ（その後）

５月の連休明けからの１週間は新型インフルエンザでてんてこ舞いでした。海外帰国者からポツポツと見つかりだした時には、まさか兵庫県で一番最初に市中感染が発生するとは思ってもいませんでしたので、健康福祉事務所を管轄する兵庫県や市立病院を運営する宝塚市などの行政機関はもちろん、医療機関にもはっきりとした対応基準がなく混乱の極みでした。当初のマスコミ報道でパニックをあおったせいか、マスクも一瞬にして品切れとなってしまったのは記憶に新しいところです。幸い県下一斉に幼稚園から大学まで１週間の休校措置をとったおかげで、最も感染の広がり易い世代での蔓延を阻止することができ、その後は急速に鎮火していきました。現在でも散発的には発生しているようですが、夏場でウイルスが活動しにくい時期になりますので当面は大丈夫でしょう。今回、大騒動の割には日本では死者が１人もでなかったのは幸いでした。従来、新型インフルエンザとしては強毒性のトリ由来のものが懸念されていました。トリ由来のインフルエンザでは致死率６０％という報告もあり（すなわち１０人感染すれば６人死亡する）、もし今回のものがトリ由来であれば少なくとも数１００人の死者がでていたことでしょう。今回のインフルエンザはブタ由来で、感染力は比較的強く広がり易いものの毒性はさほど強くなく、また高齢者の感染があまりなかったことも死者がでなかった理由だと思われます。このように日本では一旦おさまった新型インフルエンザですが地球全体では感染が広がっており、６月にＷＨＯ（世界保健機構）はフェイズ６を宣言しました。これは持続的に人から人へと感染が続いている状態で、いわゆるパンデミック（世界流行）を意味します。ですから日本でもこの秋から冬にかけては季節性インフルエンザと共に場合によっては毒性を強めた新型インフルエンザが再度流行することが懸念されています。厚生労働省の発表では年内に通常のインフルエンザ用ワクチン４０００万人分（例年の８割）に加え、新型インフルエンザワクチン２５００万人分を確保可能とのことですが希望者全員には行き渡らない可能性が大きいです。ワクチンに関しては随時お知らせ致しますので注意していて下さい。

病気の知識：肺の病気：② 結核

結核は結核菌が肺に感染して起こる病気です。昔の栄養状態が悪い頃には非常に死亡率が高く、国民病として恐れられていました。その後ストレプトマイシンなどの治療薬の進歩で結核患者数は急激に減少していきましたが、最近になってもまだまだ見られます。死亡することは稀ですが、つい最近もヨシモト興行の若手お笑い芸人が結核になっていましたし、大学などで小流行することもあります。決まった症状はありませんが、微熱が続く、咳が長引く、痰に血が混じるといった場合は胸のレントゲンや痰の検査をした方がいいでしょう。

医院よりのお知らせ

①インフルエンザ疑いの方のパーティションに関して

５月の新型インフルエンザ騒動以来、受付前にブルーのパーティション（仕切り）を設置しています。これは健康福祉事務所からの指導によるものです。新型インフルエンザは当初は宝塚市では市立病院の発熱専用外来でしか診ることができませんでしたが、その後５０余りの市内の一般の医療機関でも対応可能となりました。しかし原則としてインフルエンザ疑いの方は一般の方と分離することが求められておりますので、急な熱発・全身倦怠感・筋肉関節痛などインフルエンザ様の症状がある方はパーティションの内側での待機をお願い致します。

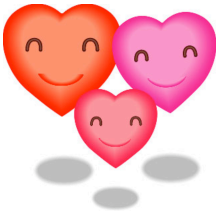
②骨太方針２００９

６月末に政府は「骨太方針２００９」を発表しました。この奇妙な名前の方針は小泉・竹中時代に「骨太方針２００６」として始まったもので、いわゆる聖域なき歳出削減を示したものです。「骨太方針２００６」では医療費の国庫支出を毎年自然増加分より２２００億円ずつ減ずることが定められました。国庫支出は国民医療費の２５％に相当するので医療費全体では毎年８８００億円が抑制される訳です。現在、日本の人口構成は少子高齢化が毎年進んでおり、どうしても医療費がかかる高齢者が増加しつつあるので、毎年同じ医療を行なったとしても国民医療費は増加していきます。このやむ得ず増加する分を大きく削減したのですから医療に大きなゆがみがでてしまいました。小泉後、安倍・福田と続く内閣でもこの方針は基本的には続けられましたが、ついに今回の麻生内閣での骨太方針では社会保障抑制の方針が撤回されました。増加する医療費の財源に関しては真剣に考える必要がありますが、医療崩壊の主因であった方針が撤回されたのは喜ばしいことです。

③熱中症に気をつけましょう！

段々と暑くなってきますが、夏の間は「熱中症」に気をつけて下さい。熱中症は体に熱がこもる状態ですが、意識をなくし命に関わることもあります。日射しが強く気温が高い時はできるだけ戸外の活動は控え、こまめに水分を補給し体を休めて下さい。屋内でもなることがあるので適宜冷房も使用して下さい。

介護保険あれこれ：⑪ 要介護認定の制度改定



４月より要介護認定の制度が変更されました。調査員の調査項目に変更が加えられ、それに基づくコンピューターによる一次判定も従来とは異なったソフトによって行なわれるようになりました。この改定は新しいデータを使ってより客観的な審査を行なうことが目的ですが、実は要介護認定を減らすのが真の目的ではという声もありました。もちろん厚生労働省は否定していますが、増加し続ける介護費を抑制するために介護審査に手を加えるのでは・・・。事実、４月から数回新しい認定審査を行ないましたが、どうも非該当と判定され、介護保険の対象外になる割合が多い様です。このような不安・不満の声があまりに多かったのでしょう、当分の間は介護審査会で新に介護度がどのようになっても、従来通りの判定のままで継続できることになりました、例えば介護２の方が支援１と判定されても、あらかじめ希望をだしておけば介護２のままで継続できる訳です。朝令暮改の典型です。

GSC

合田外科新聞

URL http://homepage3.nifty.com/GODA/index.htm

平成21年10月
第50号
合田外科
TEL 0797-71-2132
FAX 0797-74-1430

最近の話題：政権交代

８月３０日の衆議院選挙はすごい結果になりましたね。選挙前から民主党圧勝・自民党惨敗と予想はされていましたが、本当に民主党が３００議席を超え、自民党が１００議席ちょっとになるとは・・・。これは小泉元首相が強引に押し進め、格差を拡大させる元凶となった「構造改革」が完全に否定されたことを意味します。小泉後、安倍・福田・麻生元・前首相と自民党は少しづつ路線の修正を試みていましたが、結局民意は自民党を見限ったわけです。しかし考えてみれば当り前で、２００１年の小泉純一郎氏の首相就任以来、生活が豊かになったと実感できる方がいったいどれくらいいるのでしょうか？もちろんこの間にはバブルの後始末があったり世界金融危機があったりと、国民生活の向上を果たすのは困難な情勢ではありました。高度経済成長期とは異なり所得倍増とはいきません。それでもホリエモンの様な怪しげなＩＴ長者が跋扈したり、最近では訳の判らないＦＸなどいう金融取り引きが大流行りをしたりと、額に汗して働いている訳ではないのに大儲けとういう人が出現し、一方では一生懸命に働いているのに一向に生活が向上しない人が大多数というのでは、どこかこの社会はいびつであると感じざるを得ませんでした。リーマンショック以来、全世界的にいわゆる市場原理主義から距離をおこうとしていた時に「友愛」を掲げる民主党が政権を獲得したのは時宜を得たことだと思われます。さて政権交代は果たした訳ですが、民主党にとってこれからが試練であることは間違いありません。少子高齢化は確実に進行します。外需中心であった経済構造も行き詰まっています。結婚と同じで政権交代はゴールではありません。スタートに過ぎないのです。イラストは新しく厚生労働大臣に就任された長妻昭氏です。この方は「消えた年金問題」で名前を売った方で、年金に関してはエキスパートといえます。住まいも質素な賃貸暮らしで清廉といえるでしょう。但し、厚生労働分野では医療・介護等の社会保障で年金以上に問題が山積しています。私達の暮らしに直結する社会保障をしっかりと考えて頂きたいと思います。まずは後期高齢者医療制度は廃止すると明言されていますが・・・。

病気の知識：肺の病気：③ 肺癌

肺癌は日本では男性の癌による死亡の第１位であり、女性では大腸癌・胃癌に次いで第３位と非常に多い癌です。タバコが肺癌と密接に関係しているのは皆さんもよくご存知でしょう。胸の痛みや血痰などの肺の症状が現れることが多いのですが、中には相当進行しても症状が殆どなかったり、腕のだるさなど少し変った症状しかでない場合もあり、症状だけからは見つけ難い場合も多々あります。宝塚市では肺癌検診として胸のレントゲン検査を行なっていますので是非受診して下さい。今年になって当院だけでも２名の肺癌の方が検診で見つかり手術されています。

医院よりのお知らせ

①インフルエンザワクチン（季節性）のお知らせ

９月末現在、新型インフルエンザが全国的に流行しています。このインフルエンザはブタ由来のものですが、特に幼児～大学生位の若年者の間での流行が顕著です。不思議なことに６０歳を越える高齢者の方には現時点では殆ど見られません。高齢の方には何らかの免疫が既に備わっているようです。新型インフルエンザは若年者にとっては通常の季節性インフルエンザよりも若干感染率が高く、またインフルエンザ脳症の発生率も若干高い様なので、この年代では少し注意が必要ですが、大部分の方は特に重篤化することもなく数日で回復されています。新型インフルエンザのワクチンに関しては９月末の時点でははっきりしたことは厚生労働省より伝達されておらず、接種対象者や接種費用も未定です。これに関しましては情報が入り次第、随時掲示していきます。一方、通常の季節性インフルエンザに対してのワクチンは例年通り１０月１５日より接種を開始致しますが、今シーズンは新型インフルエンザワクチン製造の為に季節性インフルエンザワクチンが少なく、どこの病・医院でも昨年の８割程しか手当することができません。毎年接種されている方の分はできるだけ確保致しますが、時期が遅くなるとなくなるおそれが多分にありますので、早い時期に接種を受ける様にして下さい。

	お一人	お二人以上
65歳以上（市民）	1000円／人	1000円／人
13歳以上65歳未満	4000円／人	3000円／人
13歳未満	3000円／人	2000円／人

[インフルエンザ料金表]

例年通り６５歳以上の市民の方は１０００円で接種できます。他市にお住まいの方は、お住まいの地の市役所で証明証を交付してもらえば当院で接種できます。詳しくは受付にお尋ね下さい。６５歳未満でご夫婦やご兄弟など、一度に数名でいらっしゃった場合は１本のワクチンを効率良く分けて使うことができますので割引させて頂きます。限られたワクチンを有効に使うためにもできるだけご夫婦・ご兄弟一緒での接種をお願い致します。

介護保険あれこれ：⑫ 介護保険認定審査再改定

前回の当欄で述べましたが、今年４月から始まった介護保険の制度改定はうまく機能していません。以前より軽度に判定される方が続出し、どうしてこのような状態で「非該当＝介護保険適応外」という結果になるのかと疑問に感じられる例も多々ありました。当初は非を認めなかった厚生労働省も結局は暫定的に従来の判定を引き継げるという通達を出しましたが、実はこれにも問題があります。といいますのは従来通りの判定の継続を希望される方が圧倒的に多く、明かに改善されている方でも今度は重度に判定されるという例が続出しているからです。１０月より調査員の調査項目に再度変更が加えられ、このような暫定的な状態は解除されるようですが、現場にいる私達はもちろん、介護保険を利用されている方こそが振り回されっぱなしです。１０月以降はスムーズに介護保険業務がとり行われることと期待したいところです。